



“瀬戸の都・高松”

石彫トリエンナーレ

2009

Stone Sculpture Triennale  
of Takamatsu, Marine Capital of the Seto Inland Sea, Japan

主催 “瀬戸の都・高松” 石彫トリエンナーレ2009実行委員会・高松市

協賛 讃岐石材加工協同組合・協同組合庵治石振興会・庵治石開発協同組合・石翔会  
後援 香川県

“瀬戸の都・高松”

石彫トリエンナーレ2009

入選作品

Stone Sculpture Triennale

of Takamatsu, Marine Capital of the Seto Inland Sea, Japan



スポンサー賞/歯ART美術館賞

「RED MOON」

藤本 イサム  
兵庫県在住：62歳

制作意図

石の階段の先の間隙から見えるものは、  
何かの始まりの予感がある。  
RED MOONは、個々のシナリオの  
ステージになれば・・・



「時空の風」

朝野 浩行



「Berro V」

岩崎 順一



「逍遙門」

大栗 克博



「結晶の集合 <Cubic - Line>」

菊池 満雄



「斜面体」

佐藤 弘徳



「世界の裏を想う」

重枝 希美/大倉 典子



「さぬき野のボラード Bollard in Sanuki」

下次 正一



「ダイヤからの立体～幾何シリーズ～」  
杉野 典嗣



「In Dreams」  
Stephen Fox



「茶々の頭」  
高木 久代



「回帰 - 緩やかな時間 -」  
高岡 幸雄



「有時」  
谷村 敬八郎



「being - it thinks, and it notices -」  
多羅 信綱



「zassou」  
西村 大喜



「波の顔」  
野崎 真



「繋がる時」  
花田 俊彦



「母音」  
林 大作



「刻まれた風景 (悠久)」  
東 光司



「Space」  
平川 隆宏



「合立」

馬淵 洋



「カシオペア (XX)」

原 敏彦



「W-RAINBOW- 光と風の門」

宮岡 洋一



「Arrows allow」

山崎 康



「ひかり」

Lai Dang Dam



「OSO POLAR」

Lorena Cecilia Hamaguchi

## ■目的

全国でも有数の石材産地の一つに数えられ、優れた芸術家たちの石彫の制作現場となってきた牟礼・庵治地区を中心として石彫トリエンナーレを開催することにより、本市を芸術エリアとして情報発信するとともに、若手石彫作家の育成および、市民が優れた芸術作品にふれる場を提供し、本市の文化芸術の発展に寄与することを目的としています。今回から、従来の開催方法を見直し、名称を変更するとともに事業内容もリニューアルし、より芸術性の高いものとして、実施しています。

## ■石彫コンクール

世界各国から前回の応募数90点（国内84点，国外5か国6点）を上回る，これまでで最高の149点（国内88点，国外25か国61点）の応募がありました。特に，応募要項を英訳してインターネットで発信したことから，外国からの応募は，約10倍となりました。

書類による1次審査，模型作品による2次審査を経て，応募作品の中から入賞4点を含む入選作品29点を選出しました。

9 / 9 水 ~ 9 / 11 金

8時半~17時

“瀬戸の都・高松”  
石彫トリエンナーレ2009

**模型作品写真展**

高松市役所  
1階市民ホール

招待作家を含む，コンクール入賞・入選作品30点の写真を一堂に展示します。

9 / 4 金 ~ 9 / 27 日

9時~17時（ただし，入館は16時半まで）

“瀬戸の都・高松”  
石彫トリエンナーレ2009

**模型作品展**

高松市石の民俗資料館  
エントランスホール・特別展示室

招待作家を含む，コンクール入賞・入選作品30点の模型作品を一堂に展示します。  
休館日：月曜日（休日の場合は翌日）



優秀賞

「天壤 “循環2009”」

齋藤 徹

(東京都在住：51歳)

作家歴 (受賞歴・主な展覧会等)

- 1996年 甲府まちなかの彫刻展 大賞
- 1999年 宇部現代日本彫刻展  
雨引の里と彫刻 (2001, 2003, 2006, 2008 出品)
- 2000年 ドイツハノーバーエキスポプロジェクト
- 2003年 チリ サンチャゴ彫刻ビエンナーレ招待制作
- 2004年 韓国釜山ビエンナーレ招待制作  
メキシコ グアダハラハラ彫刻ビエンナーレ招待制作
- 2008年 トルコ メルシム彫刻シンポジウム参加  
アルゼンチン レジステンシア彫刻ビエンナーレ参加



個展 愛宕山画廊、Norieギャラリー、AD&Aギャラリー  
その他、ポルトガル、イタリア、フランス、トルコ、ベルギー、台湾等の彫刻ビエンナーレ、シンポジウムに参加。

制作意図

空から降る雨に、地上の生き物は命の恵みを得る。  
そしてやがて朽ちてゆく。  
有史以前からその繰り返しが続き、今日へとつながる。  
雨が蒸発し、再び地に舞い戻る。  
そのなかに、全てのものを浄化する力さえ感ずる。  
とてつもないエネルギーを持ってしかし淡々と。

奨励賞



「The door of the wind」

田中 等

(宮崎県在住：60歳)

作家歴 (受賞歴・主な展覧会等)

- 1996年 第4回横浜彫刻展 入賞および優秀模型
- 1997年 第4回倉敷まちかどの彫刻展 入選  
第12回国民文化祭・かがわ'97 石のフェスティバル 香川県知事賞
- 1998年 '98日向現代彫刻展 日向現代彫刻展大賞  
熊日総合美術展 - 21世紀アート大賞'98  
熊本放送賞
- 1999年 第18回現代日本彫刻展 模型入選
- 2005年 EMAAR International Art Symposium (U.A.E・ドバイ)  
富士火災アートのスペース
- 2007年 2007 Hualien International Stone Sculpture Festival (台湾)
- 2008年 高鍋町美術館郷土作家シリーズ 田中等彫刻展  
第3回 International Symposium L'art pour la sante (スロバキア)
- 2009年 2009中国国際彫刻年鑑展 (中国・北京)



制作意図

風と光が扉を抜けていく  
扉の向こうには夢と希望がある  
人々の心も扉の向こうに導かれていく



「瀬戸の都 (four-door)」

長沼 克己

(岐阜県在住：49歳)

作家歴 (受賞歴・主な展覧会等)

- 1960年 岐阜県生まれ
- 1984年 名古屋造形大学彫刻科に勤務  
以後第16回、17回現代日本美術展出品  
第15回、16回日本国際美術展出品  
第1回石のさとフェスティバル 石の彫刻コンクール  
展出品作品庵治町買上げ  
第1回美浜町国際野外彫刻ビエンナーレ優秀作品  
ストーンミュージアムオープン記念  
石の彫刻展出品以後2009年まで  
第12回国民文化祭・かがわ'97 石のフェスティバル 出品  
洞爺村国際彫刻ビエンナーレ2001出品以後'03'05年展出品  
第5回KAJIMA彫刻コンクール出品以後第7回、第8回、第10回展出品  
第5回石のさとフェスティバル 石の彫刻国際シンポジウム招待出品  
第7回大分アジア彫刻展出品以後第8回展出品  
第7回石のさとフェスティバル 石の彫刻国際シンポジウム招待出品  
第1回世界文化遺産・白川郷芸術祭出品  
第23回現代日本彫刻展UBEビエンナーレ2009模型出品  
個展、グループ展etc



制作意図

古くから日本の都市の起源に都がある。それはひとつの家の存在から互いに緊密に寄り集まって都の風景へと発展してきた。  
現代でも都のイメージから生まれる郷愁を家の形象をつくりだすことによって、日本人の心に潜んでいる原初の風景ふるさとを意識化させたい。

招待作家作品

「門 - MUSE LOVE」

川島 猛  
 (ニューヨーク在住:  
 1930年生まれ)



作家歴 (受賞歴・主な展覧会等)

高松市出身

1963年に渡米。ニューヨーク・マンハッタンに定住し、「N.Y.→D.T.1985: Red and Black」の抽象画シリーズで認められる。ニューヨーク近代美術館、クライスラー美術館、東京都美術館、香川県文化会館、京都市立近代美術館、東京国立近代美術館、大原美術館、広島市現代美術館、高松市美術館など、コレクション多数。高松市にアトリエを持ち、2004年香川県より、世界各地で香川県のイメージアップ活動を行う名誉大使「KAGAWA アンバサダー」を委嘱される。

制作意図

タイトルの「門」は自分なりにふたつのモニュメンタルな意味を描いていました。それは少む人生の旅の「門」であり、人間と大地の母である小宇宙でした。人体を創造させる「門」はすべての人や物の通る場所であり、出会いの場所であることを象徴的に表現しました。



■実物制作

優秀賞・奨励賞の受賞者3名は、模型に従って拡大した石彫作品を実物制作します。あわせて本市出身の現代アート作家の川島猛を招待作家として迎え、石彫作品を制作します。完成作品4点は高松市立房前公園に設置されます。

制作者 …… 招待作家 川島 猛  
 優秀賞 齋藤 徹  
 奨励賞 山中 等  
 長沼克己

制作期間 …… 平成21年9月24日(木)～10月30日(金)  
 制作場所 …… 高松市(牟礼・庵治地区)  
 設置場所 …… 高松市立房前公園

※制作過程は公開されますが、見学は予約が必要です。

■作品完成記念式

招待作家を含む、コンクール入賞4点の実物作品の展示、作家による作品紹介等

“瀬戸の都・高松”石彫トリエンナーレ2009作品完成記念式

開催日時 …… 11/3(火・祝)14時～  
 開催場所 …… 高松市立房前公園

11/3火・祝～

“瀬戸の都・高松”石彫トリエンナーレ2009 実物作品設置

高松市立房前公園

招待作家を含む、コンクール入賞4点の実物作品を展示します。

